

## 株式会社丸杉とホームタウンパートナー協定を締結



8月13日、笠松町と株式会社丸杉は、スポーツ振興に向けた取り組みを推進するため、ホームタウンパートナー協定を締結しました。

株式会社丸杉は、東京オリンピックバドミントン女子ダブルスで日本代表入りが確実視されている福島由紀選手や廣田彩花選手などの移籍を受け、新たにバドミントンチーム「丸杉Bluvic（ブルビック）」を立ち上げ、現在、この新チームは総合会館を練習拠点として使用しています。

今回の協定では、「丸杉Bluvic」の練習環境を確保するとともに、所属選手によるバドミントン教室の開催をはじめ、地域振興やスポーツ振興に向けて両者が協力していくことが約束されました。

締結式において、チームを代表して挨拶された福島選手と廣田選手は「素晴らしい練習環境を提供いただいていることに対する感謝の気持ちを忘れず、オリンピック優勝を目指して頑張りたい。これから地元の皆さんと交流できるのが楽しみ」と今後の意気込みを語られました。

式の最後には、3月の全英オープン優勝のお祝いとして町長から両選手へ花束が手渡されるとともに、今後の飛躍を期待し、激励の言葉が贈られました。

## 岐阜東南ロータリークラブとの連携を通じて 地域防災力のさらなる向上を

8月21日、笠松町と岐阜東南ロータリークラブは、地域防災力向上、災害時の支援協力を目的とした災害協定を締結しました。この協定では、災害時の早期復旧を図るため、ロータリークラブのネットワークを活用した支援をいただくほか、平時からの地域防災力向上のために相互協力することが約束されました。

また、9月15日には、岐阜東南ロータリークラブから羽島郡広域連合へドローン2機などが寄贈されました。寄贈式が行われた笠松みなと公園では、羽島郡広域連合による水難救助訓練も行われ、隊員が操縦するドローンによって要救助者を探し出し、ドローンを目印に救助艇が迅速に事故現場へ向かう様子などが披露されました。今回寄贈されたドローンは、4Kカメラを搭載し、非常に広範囲で活動できる最新型で、大規模災害時の被災状況の確認や、水難事故現場における人命救助といった場面での活躍が期待されているほか、今後、地域の防災意識向上に向けた日常的な利活用も検討されます。

